

一般競争入札（最低価格落札方式）に関する質問及び回答（Q&A）

最終更新日 2026 年 9 月 25 日
独立行政法人情報処理推進機構

件名：脆弱性関連システム JVN iPedia/MyJVN の保守業務

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答	回答掲載日
1	入札説明書	p.21	Ⅲ．仕様書 6．業務要件	6．業務要件 業務執行体制に関する要件 「電子メールによるサポートは 24 時間 365 日受付をし、一次回答については、当機構のカレンダー基準で一営業日以内に行うこと。」 【質問・要望事項】 上記サポートの受付および一次回答の窓口について、電子メールに代わり（または併用して）、プロジェクト管理ツール（Backlog）を利用することは可能でしょうか。	Backlog を利用することは可能です。 他に利用したいツールがございましたら問い合わせください。	2026 年 09 月 25 日

2	入札説明書	p.21	Ⅲ．仕様書 6．業務要件	6．業務要件 業務執行体制に関する要件 「業務執行体制(責任者や担当者等)が変更になる場合は、1ヶ月前までにその旨をIPAに報告すること。」 【質問・要望事項】 担当者の急な退職や傷病など、不測の事態により1ヶ月前までの報告が物理的に困難な場合において、判明次第の速やかな報告(または事後報告)とさせていただく等の例外措置は許容されますでしょうか。	不足の事態が判明次第、替わりの担当者の情報を報告してください。	2026年09月 25日
3	入札説明書	P.18	Ⅲ．仕様書 2．契約期間	2．契約期間 2026年12月1日～2028年3月31日までとする。 【質問】 新システムが稼働するまでの期間においては、現行システムの保守作業になりますでしょうか。 あるいは稼働するシステムにおける保守作業の準備期間という位置付けになりますでしょうか。	現行システムの保守作業ではなく、新システムの構築支援作業を行っていただきます。具体的には、システム構築時の問い合わせ対応及び不具合の切り分け作業になります。	2026年09月 25日

4	入札説明書	P.20	Ⅲ．仕様書 4．業務概要	4．業務概要 (2) 対象システムのうち本保守業務の対象となるサービスの概要 JVN iPedia/MyJVN のシステムに付随するツール (mjcheck5、バージョンチェッカー等) 【質問】 「mjcheck5、バージョンチェッカー等」の他にどのようなツールがございますでしょうか。	mjcheck5 とバージョンチェッカーのみが対象となります。	2026年09月25日
5	入札説明書	P.20	Ⅲ．仕様書 4．業務概要	4．業務概要 (2) 対象システムのうち本保守業務の対象となるサービスの概要 AWS(※保守業務の中にAWSの調達業務は含まれない。) OCI (※保守業務の中にOCIの調達業務は含まれない。) 【質問】 AWS と OCI とではどのような使い分けをされていますでしょうか。	・AWS では、JVN iPedia/MyJVN のサービス全般を動作させます。 ・OCI には、脆弱性対策情報等のデータフィードを格納します。 ※データフィードとは、以下のページで公開しているファイルです。 https://jvndb.jvn.jp/ja/feed/	2026年09月25日

6	入札説明書	P.20	Ⅲ．仕様書 5．業務内容	5．業務内容 1．保守業務サービスの種類及び内容 1.1．保守業務 【質問】 新システムの稼働に伴うリリース作業は作業対象外と考えてよろしいでしょうか。	リリース作業自体はIPAが行います。 ただし、リリース作業に伴う問い合わせ対応や障害調査については、作業対象となります。	2026年09月 25日
7	入札説明書	P.20	Ⅲ．仕様書 5．業務内容	5．業務内容 1．保守業務サービスの種類及び内容 1.1．保守業務 【質問】 既存システムの JVN iPedia 及び MyJVN において、障害や問い合わせ調査の発生頻度はどれくらいでしょうか。 具体的な問い合わせ内容等の例があればご教示頂けると幸いです。	問い合わせ頻度の目安を以下に記載します。ただし、あくまでも目安のため、回数の増減はあります。 ・2026年12月～2027年3月は月に10回程度です。 ・2027年4月～2027年9月は月に5回程度です。 ・2027年10月～2028年3月は月に2回程度です。	2026年09月 25日
8	入札説明書	P.21	Ⅲ．仕様書 6．業務要件	6．業務要件 1．業務執行体制に関する要件 【質問】 問い合わせ等のやり取りはメール、Teams などとなりますでしょうか。 その他の手段を想定されておりますでしょうか。 Backlog や Slack でのやり取りは可能でしょうか。	メール、電話、Teams を想定しております。その他の手段として、Backlog と Slack については利用可能です。	2026年09月 25日

9	入札説明書	P.22	Ⅲ．仕様書 6．業務要件	6．業務要件 2．業務スキルに関する要件 (2) 担当者のスキル 【質問】 C#で開発されたアプリケーションについて、Windows アプリケーションと考えてよろしいでしょうか。 Windows アプリケーションはどのシステムが対応するのでしょうか。 また、開発されている.NET および C#のバージョンをご教示頂けますでしょうか。	C#で開発したアプリケーションは、Windows アプリケーションです。当該アプリケーションは、Windows11, Windows Server 2022, 2025 で動作をします。また、当該アプリケーションの.NET Framework のバージョンは4.8 になります。	2026 年 09 月 25 日
10	入札説明書	P.24	Ⅲ．仕様書 8．検査要件	8．検査要件 本仕様書に定める業務が適切に実施されたことを確認することをもって合格とする。 【質問】 検査不合格となる場合は具体的にどのような事例になりますでしょうか。	作業報告書において、報告内容と実際の作業内容が異なっていた場合は、検査不合格となります。	2026 年 09 月 25 日